2025年度 シラバス&レッスンプラン

科目	講師	提出
ツーリズム基礎	本郷 吉之助	25年 2 月 日

学科	学年		
国際観光ビジネス科	1年	前期	○
		後期	

授業の方法	講義
講義時限数	15
単位数	2

＜講義目的＞ この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

裾野の広いツーリズム業界の様々な取り組みを学び業界への理解を深めます。

＜講義概要＞

ツーリズム業界の様々な取組内容を理解するための授業です。資料は、観光庁・行政・業界および業界団体等のオープンデータを活用して教材を作成し講義いたします。

＜授業の進め方＞

☑ 講義 □グループワーク □実技・演習 □フィールドワーク 実□習
□ その他( )

＜授業計画全体における講義・演習・実習の割合＞

講義 100 % 演習 % 実習 %

＜到達目標レベル(何を、どのレベルに)＞

・各業界の取組内容を理解し、説明できるようになる。
・ツーリズム産業を支える組織の果たす役割について理解する。
・交流人口の拡大がなぜ必要なのかを理解する。
・旅行業界の新たな取組について理解を深める。

＜レッスンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)＞

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	オリエンテーション(何故ツーリズムを学ぶのかを解説します) 4月9日	配布資料あり	□
2	ツーリズム業界の取組①(鉄道業界の取組について) 4月16日	配布資料あり	□
3	ツーリズム業界の取組②(宿泊・冠婚葬祭について) 4月23日	配布資料あり	□
4	ツーリズム業界の取組③(航空・運輸業界の取組について) 4月30日	配布資料あり	□
5	ツーリズム業界の取組④(観光関連施設について) 5月7日	配布資料あり	□
6	ツーリズム業界の取組⑤(旅行業界の取組について) 5月14日	配布資料あり	□
7	ツーリズム産業を支える組織(観光を支える組織について) 5月21日	配布資料あり	□
8	何故交流人口の拡大が必要なのか(交流人口の拡大で活性化している事例を紹介) 5月28日	配布資料あり	□
9	DX(digital transformation) ＊DXの必要性と事例紹介 6月4日	配布資料あり	□
10	旅行業界の新たな動き①(ツーリズム事業について) 6月11日	配布資料あり	□
11	旅行業界の新たな動き②(エリアソリューション事業について) 6月18日	配布資料あり	□
12	旅行業界の新たな動き③(ビジネスソリューション事業について) 6月25日	配布資料あり	□
13	旅行業界の新たな動き④(グローバル事業について) 7月2日	配布資料あり	□
14	ツーリズム基礎復習①(期末試験対策) 8月27日	配布資料なし	□
15	ツーリズム基礎復習②(期末試験対策) 9月3日	配布資料なし	□

＜授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)＞

JTBにて法人営業・販売促進・施策立案・組織運営等を担務。その後、大学の観光系学部にて5年間教鞭をとる。ツーリズム人材育成関連の授業を担当。

＜成績評価方法・基準＞

試験と評価方法		評価方法				
	☑ 試験期間中		☑ 筆記試験(70%)	□ 小テスト(%)	□ レポート(%)	☑ その他(30%)
	□ 講義時限内		□ 実技試験(%)	□ 受講態度(%)	□ 作品(%)	↳ (出席点)

＜教員紹介＞

JTBにて法人営業・販売促進・施策立案・組織運営等を担務。その後、大学の観光系学部にて5年間教鞭をとる。ツーリズム人材育成関連の授業を担当。